

平成19年度事業報告

1. 事業の状況

昨年後半米国サブプライム問題に端を発した金融不安の波及を懸念し、米国景気の先行き不透明感が根強く残り、日本国内の株安、円高が加速、金利も依然と低金利が継続している事から、当基金の基本財産運用収入は予算を約11,600千円達成せず、前年度実績比24,082,946円の減収になり96,403,683円となった。

助成事業については、共同事業のプロ・ナトゥーラファンド33件26,800千円、ナショナル・トラスト活動4件13,375千円を実施。自主事業においては、小笠原諸島世界自然遺産登録に向けての外来種対策の助成(1年目10,000千円)を実施、又、カエルツボカビ対策に重点的に助成を行った結果、総計52件68,865千円の助成を実施した。

その他の事業としてPNファンド助成成果発表会、プロ・ナトゥーラ・ニュースの改訂版(2年目)の発行などを実施した。

2. 事業の内容

I 共同助成事業

①プロナトゥーラ・ファンド助成

(財) 自然保護助成基金と (財) 日本自然保護協会で行なう一般公募による共同助成事業。

合計33件 26,800千円

②ナショナル・トラスト活動助成

(財) 自然保護助成基金と (社) 日本ナショナル・トラスト協会で行なう一般公募による共同助成事業

合計4件 13,375千円

II 自主助成事業

①有力保護団体助成

(財) 日本自然保護協会	2件	4,000千円
(財) 山階鳥類研究所	1件	2,000千円
(財) 世界自然保護基金ジャパン	4件	4,000千円
国際環境NGO・FoE JAPAN	1件	1,000千円

合計8件 11,000千円

②直接助成

当基金が緊急且つ重要と認める自然保護に資する調査研究および活動への直接助成

合計8件 17,690千円

以上 I と II の総計

52件 68,865千円

Ⅲ その他の事業

①第13回P.Nファンド助成成果発表会の開催（懇親会含む）

主催：（財）自然保護助成基金・（財）日本自然保護協会

日時：2007年12月8日（土）10：00～19：00

場所：主婦会館 プラザエフ（千代田区）

出席者：120名超

②プロナトゥーラ・ニュース（年1回、12月発行）の改訂版の発行（2年目）

平成19年度 収支計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	平成19年度予算額	平成19年度決算額	差 異
1. 収入の部			
1. 基本財産運用収入	108,000,000	96,403,683	11,596,317
2. 運用財産運用収入	50,000	385,352	△ 335,352
3. 雑収入	0	592,162	△ 592,162
4. 退職給与積立預金取崩収入	2,000,000	2,000,000	0
当期収入合計 (A)	110,050,000	99,381,197	10,668,803
前期繰越収入差額	82,864,521	82,864,521	0
収入合計 (B)	192,914,521	182,245,718	10,668,803
2. 支出の部			
1. 事業費	98,000,000	74,745,976	23,254,024
PNファンド公募助成	28,000,000	26,800,000	1,200,000
ナショナル・トラスト活動助成	20,000,000	13,375,500	6,624,500
有力保護団体助成	12,000,000	11,000,000	1,000,000
緊急且重要な直接助成 (三宅島・小笠原含む)	30,000,000	17,690,000	12,310,000
事業管理費	8,000,000	5,880,476	2,119,524
2. 管理費	19,580,000	18,195,832	1,384,168
人件費	12,000,000	11,346,506	653,494
事務費	7,580,000	6,849,326	730,674
3. 特定預金支出	30,400,000	30,400,000	0
退職給与積立預金支出	400,000	400,000	0
基本財産評価損積立預金支出	30,000,000	30,000,000	0
4. 予備費	300,000	0	300,000
当期支出合計 (C)	148,280,000	123,341,808	24,938,192
当期収支差額 (A) - (C)	△ 38,230,000	△ 23,960,611	△ 14,269,389
次期繰越収支差額 (B) - (C)	44,634,521	58,903,910	△ 14,269,389

正味財産増減計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	96,403,683	120,486,629	△ 24,082,946
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	151,974	23,318	128,656
③ 雑収益			
受取利息	129,014	30,016	98,998
有価証券運用益	104,364	48,327	56,037
雑収益	592,162	142,900	449,262
経常収益計	97,381,197	120,731,190	△ 23,349,993
(2) 経常費用			
① 事業費			
活動助成金	68,865,500	55,816,000	13,049,500
主催事業費	644,506	2,375,605	△ 1,731,099
事業費－旅費交通費	132,510	148,510	△ 16,000
事業費－通信運搬費	3,410	29,320	△ 25,910
事業費－支払手数料	100,050	114,260	△ 14,210
事業費－P.N.F.分担金	5,000,000	5,000,000	0
事業実施引当金繰入額	-	30,000,000	△ 30,000,000
事業費計	74,745,976	93,483,695	△ 18,737,719
② 管理費			
役員報酬	2,640,000	2,640,000	0
給料手当	5,850,000	5,610,000	240,000
法定福利費	856,506	899,710	△ 43,204
退職給付費用	400,000	400,000	0
旅費交通費	1,250,690	1,033,385	217,305
通信運搬費	535,446	770,606	△ 235,160
消耗品費	146,638	71,209	75,429
賃借料	3,180,000	3,180,000	0
新聞図書費	82,415	76,065	6,350
顧問料	833,700	819,000	14,700
PNニュース改訂版制作費	163,140	129,150	33,990
会議費	134,379	116,445	17,934
手数料	57,820	31,870	25,950
諸会費	53,500	53,500	0
減価償却費	83,097	45,588	37,509
雑費	235,669	429,163	△ 193,494
管理費計	16,503,000	16,305,691	197,309
経常費用計	91,248,976	109,789,386	△ 18,540,410
当期経常増減額	6,132,221	10,941,804	△ 4,809,583
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
基本財産評価損引当金繰入額	30,000,000	-	30,000,000
経常外費用計	30,000,000	-	30,000,000
当期経常外増減額	△ 30,000,000	-	△ 30,000,000
当期一般正味財産増減額	△ 23,867,779	10,941,804	△ 34,809,583
一般正味財産期首残高	83,304,655	72,362,851	10,941,804
一般正味財産期末残高	59,436,876	83,304,655	△ 23,867,779
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	2,000,000,000	2,000,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000,000	2,000,000,000	0
III. 正味財産期末残高	2,059,436,876	2,083,304,655	△ 23,867,779

貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	43,357,448	45,758,334	△ 2,400,886
未収収益	12,629,223	32,775,111	△ 20,145,888
MMF (大和証券公社債投信)	20,168,423	20,064,059	104,364
前払金	-	2,224,000	△ 2,224,000
流動資産合計	76,155,094	100,821,504	△ 24,666,410
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	2,000,000,000	2,000,000,000	0
基本財産合計	2,000,000,000	2,000,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付積立預金	550,000	2,150,000	△ 1,600,000
事業実施積立預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産評価損積立預金	30,000,000	-	30,000,000
特定資産合計	80,550,000	52,150,000	28,400,000
(3) その他固定資産			
什器備品	337,410	244,578	92,832
電話架設権	149,968	149,968	0
その他固定資産合計	487,378	394,546	92,832
固定資産合計	2,081,037,378	2,052,544,546	28,492,832
資産合計	2,157,192,472	2,153,366,050	3,826,422
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払助成金	17,065,000	17,645,000	△ 580,000
預り金	140,596	132,706	7,890
未払金	-	133,689	△ 133,689
流動負債合計	17,205,596	17,911,395	△ 705,799
2. 固定負債			
退職給付引当金	550,000	2,150,000	△ 1,600,000
事業実施引当金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産評価損引当金	30,000,000	-	30,000,000
固定負債合計	80,550,000	52,150,000	28,400,000
負債合計	97,755,596	70,061,395	27,694,201
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	2,000,000,000	2,000,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000,000	2,000,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000,000)	(2,000,000,000)	0
2. 一般正味財産	59,436,876	83,304,655	△ 23,867,779
(うち特定資産への充当額)	(-)	(52,150,000)	(△52,150,000)
正味財産合計	2,059,436,876	2,083,304,655	△ 23,867,779
負債及び正味財産合計	2,157,192,472	2,153,366,050	3,826,422

財産目録

(平成20年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I. 資産の部			
1. 流動資産		76,155,094	
①現金	7,588		
②普通預金	43,349,860		
三井住友銀行渋谷支店	(41,100,944)		
中央三井信託銀行渋谷支店	(2,248,916)		
③MMF (大和証券)	20,168,423		
④未収収益	12,629,223		基本財産運用収入
2. 固定資産		2,081,037,378	
(1) 基本財産			
①有価証券(事業債)	100,000,000		
②有価証券(金融債)	1,900,000,000		
(2) 特定資産			
①退職給与積立預金	550,000		
②事業実施積立預金	50,000,000		
③基本財産評価損積立預金	30,000,000		
(3) その他固定資産			
①什器備品	337,410		
②電話架設権	149,968		
II. 負債の部			
1. 流動負債		17,205,596	
①未払金	17,065,000		事業費(助成金)
②預り金	140,596		源泉所得税/雇用保険料/ 住民税/社会保険料
2. 固定負債		80,550,000	
①退職給与引当金	550,000		
②事業実施引当金	50,000,000		
③基本財産評価損引当金	30,000,000		
正味財産 合計 (I - II)			2,059,436,876

平成20年度事業計画

1. 事業の状況

米国景気の先行き不透明感が根強く、サブプライム問題による金融不安の波及を懸念し、日本国内の株安、円高傾向は当分の間継続されると予想され、基本財産運用収入はあまり多くは望めず80,000千円(前年予算比△28,000千円)前後となる。

事業においては、従来どおり自然環境保全に資する調査・研究、活動助成および、ナショナル・トラスト活動助成を継続。総合計98,000千円(事業管理費を含む前年度予算と同等)を計上し、積極的な助成事業を展開する。

2. 事業の内容

(1) プロ・ナトゥーラ・ファンドによる一般公募助成

国内調査研究助成	}	総 額	28,000千円
国内活動助成			
国内長期事業助成			
海外助成			

(2) ナショナル・トラスト活動助成

絶滅が危惧される種や、貴重な生態系の保護のために必要な私有地を買取りまたは借り上げ、私的保護区(ナショナル・トラスト)とする資金の公募助成((社)日本ナショナル・トラスト協会との共同事業)

20,000千円

(3) 有力保護団体に対する直接助成

総 額 12,000千円

内訳

イ.(財)日本自然保護協会(NACS-J)の案	(4,000千円)
ロ.(財)世界自然保護基金(WWF-J)の案件	(4,000千円)
ハ.NPO法人F o Eジャパンの案件	(2,000千円)
ニ.(財)山階鳥類研究所の案件	(2,000千円)

(4) 当基金が緊急且つ重要と認める自然保護に資する調査研究あるいは活動への直接助成

20,000千円

(5) 小笠原諸島・世界自然遺産登録に向けて、調査・研究・活動をする市民グループ（小笠原諸島自然環境保全機構）への助成事業（2年目）
10,000千円

以上 (1)～(5)の助成額合計 90,000千円

(6) その他の事業関係

- ・ P.N. ファンド助成成果発表会を12月初旬に開催の予定(開催場所未定)
- ・ 財団創立15周年記念事業として小冊子の発行を予定

以上

平成20年度 収支予算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	平成20年度 補正予算額	平成20年度 当初予算額	差 異
1. 収入の部			
1. 基本財産運用収入	39,000,000	80,000,000	△ 41,000,000
2. 運用財産運用収入	300,000	300,000	0
3. 事業実施積立預金取崩収入	9,000,000	0	9,000,000
当期収入合計 (A)	48,300,000	80,300,000	△ 32,000,000
前期繰越収入差額	58,903,910	58,903,910	0
収入合計 (B)	107,203,910	139,203,910	△ 32,000,000
2. 支出の部			
1. 事業費	84,000,000	98,000,000	△ 14,000,000
PNファンド公募助成	(26,000,000)	(28,000,000)	(△2,000,000)
ナショナル・トラスト活動助成	(19,000,000)	(20,000,000)	(△1,000,000)
有力保護団体助成	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
緊急且重要な直接助成	(20,000,000)	(30,000,000)	(△10,000,000)
事業管理費	(7,000,000)	(8,000,000)	(△1,000,000)
2. 管理費	22,500,000	24,100,000	△ 1,600,000
人件費	(14,000,000)	(15,000,000)	(△1,000,000)
事務費	(8,500,000)	(9,100,000)	(△600,000)
3. 特定預金支出	400,000	400,000	0
退職給与積立預金支出	(400,000)	(400,000)	(0)
4. 予備費	300,000	300,000	0
当期支出合計 (C)	107,200,000	122,800,000	△ 15,600,000
当期収支差額 (A) - (C)	△ 58,900,000	△ 42,500,000	△ 16,400,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	3,910	16,403,910	△ 16,400,000